



<サポーターズカンファレンス>

- 開催日時：9/8（日）10:00～12:00
- 会場：オンリーワンダースタジアム2階
- 出席：(株)いわてアスリートクラブ 代表取締役社長 宮野聡
(株)いわてアスリートクラブ 取締役常務 高橋理
(株)いわてアスリートクラブ 強化・育成担当 田中舜
- 内容：2019シーズンの活動の進捗報告
事前質問に対する回答
意見交換

【開会のご挨拶】

（宮野）本日はご多忙のところお集まりいただき、誠にありがとうございます。また、この場をアレンジ頂いたオンリーワンダースタジアム様に感謝申し上げます。事前に頂戴しましたご質問にお応えする前に、まずは当方より、「スタジアム検討の進捗」「今シーズンの残りの展望」「来シーズンに向けて」の3点をお話させていただきます。

【スタジアム検討の進捗】

（宮野）まずは、多数のご署名にご協力頂き、改めて御礼申し上げます。

最低ラインである、「2023シーズンまでにいわぎんスタジアムに照明を付ける」ことについては、所有者である盛岡市との議論を中心に順調に話を進めています。また、同時並行で、J2昇格の緩和措置に引っかかる為の改修、J2→J1基準にきちんと達する為のスタジアム検討も進めています。先日、Jリーグによるサポートの下、専門業者様より仮にいわぎんスタジアムをJ1基準まで改修した場合のパース図・改修プランをプレゼンいただきました。他方、ゼロからスタジアムを作るプランもお示し頂いており、予算組は勿論ですが、立地環境・岩手に必要なスタジアムの中身についても検討を進めて参りたいと思います。例えば、一つの例として、FCバーゼルの本拠地「ザンクト・ヤコブ・パーク」というスタジアムがあります。日本と同じく少子高齢化の進むスイスにおいて、3世代が募り、街全体の活性化に寄与するため、高齢者用住宅やショッピングモールが併設されたスタジアム構造になっています。日本でも、CCR Cという生涯活躍のまちづくりが注目されていますが、まちの課題解決に貢献すると共に、健康促進・予防といった観点でスポーツや食は大切なポイントとなりますので、サッカー・スポーツを越えた視点で検討を進め、その中のハブとしてスタジアムがある構想を、主軸の一つとして検討していきたいと考えています。

<ご参考：Jリーグ公式チャンネル「世界の街のサッカースタジアム #2 FCバーゼル1893（スイス）」>

https://www.youtube.com/watch?v=mg_Tby3QZXU



【今シーズンの残りの展望】

(宮野) トップチームに関しては、後半戦が始まり、勝ち点50、一桁順位という目標に対して厳しい戦いが続いています。新加入選手、怪我人の復帰による戦力の改善も視野に入れつつ、菊池監督を中心にここからの巻き返しを図っていきたいと思います。アカデミーカテゴリーにつきましても、リーグ残留・昇格をかけ、ここからが正念場となりますので、各カテゴリーの監督を中心に選手達を束ねて結果を出せるよう取り組んで参ります。事業面としては、今シーズンはスタジアムの環境改善、SaToMansionとのコラボによる公式応援ソングの製作、小ロット多品種でのグッズ展開等、大小問わず新たな試みを行い、更に、先日開催しましたINAC神戸レオネッサとのW開催では、県内初の男女同時開催でいわスタの動員レコードを塗り替える等、一定の成果を上げることができました。他方、入場者数に関しては、前年は上回るものの、当日の天候や県内の他行事の関係になかなか打ち勝つことができず、平均2,000名にはまだまだ及ばない状態が続いています。北上開催2連戦についても、過去2年間のスケジューリングとは異なり、今回はラグビーワールドカップの関係で10月に組ませて頂いておりますが、いわて盛岡シティマラソンや高校サッカー選手権予選など、他イベントも目白押しの為、正直、苦戦を強いられるかと思えます。ただし、県南の皆様にご覧頂くまたとない機会を2試合頂きましたので、ご観戦いただく皆さま楽しんで頂けるよう、仕掛けて参りたいと思います。

【来シーズンに向けて】

(宮野) まずは、スタジアム改修を順調に進展させることに引き続き注力いたします。1シーズンでも早く照明を具備し、Jリーグクラブとしての継続は勿論、岩手県内のスポーツにおける暑熱対策、避雷対策、ナイター導入による芝生グラウンド活用機会の充実を図り、老若男女を問わず、スポーツを通じた豊かな生活を促進させたいと思います。とはいえ、来シーズンはこれまでと同じ環境での戦いとなります。クラブ努力がまだまだ足りないことは多分にありますが、いわぎんスタジアムでの開催の場合、時間を割き、お金を払ってでも毎回見に行きたいという空間を作るのは、なかなか難しいなということを改めて実感しています。長野パルセイロのホームスタジアムに行ったことがある方はお分かりになると思いますが、試合内容やイベントの如何を問わず、あのスタジアムに行くと、試合前からワクワク感があり、観戦中の居心地の良さ、応援のこだまする感じは、何とも言えない楽しさがあります。照明の具備やスタジアムの改修に意義を見出せず疑問を抱いている方は、一度で良いので他県で、しかも岩手のような地方で長野パルセイロのような体験をしてほしいと切に願うのですが、他力本願では仕方がないので、完成した後に「こういうことか」と思ってもらえるよう、引き続き取り組んで参ります。

トップチームに関しては、降格がない、昇格に向けたスタジアムの取り組みもカウントダウンまではいっていないということで、引き続きグルージャとしての目標をしっかりと定めることが大切です。今後、勝利を重ねて上位に食い込んだ場合、選手の引き留め材料を揃えなければならない。下位に甘んじた場合、来季も勝って皆で喜べるよう、最大限の編成を考えなければならない。予算の兼ね合いはありますが、秋以降の戦いを注視しながら、同時並行で来季の編成を検討して参ります。

アカデミー・スクールに関しても、お預かりしている選手の皆の成長を促進できる体制・中身の充実を模索し続けると共に、保護者の皆様のご期待に応え、ご負担を少しでも軽減しながら子供たちをお預かりできるよう、改善を図りたいと思います。



その他フロントの事業面ですが、まだまだ、今季・来季ともにたくさんの仕掛けを用意しています。現在応援して頂いているファン・サポーターの皆様が年間を通じて楽しんで頂けるよう、また、クラブとしても県内外でより多くのファンを獲得できるよう、努めて参ります。今後ともご期待頂ければと思います。

ここからは、事前に頂きましたご質問に答えて参ります。

【事前質問に対する回答】

[スタジアム・行政]

- 改修及び照明設置について (2)
- 署名提出後の現況について (2)
- 今後の行政へのアプローチ方法について (1)
- 長年クラブ運営をしている割にクラブの認知度が上がっていない現状に心を痛めています。盛岡市のプロスポーツの発展に盛岡市がもっと当事者意識を持つべきではないかと思っています。盛岡市の首長を始め市の職員が「おらが街のクラブ」として参画して頂けるようスポーツ担当窓口や職員組合への積極的なアプローチの実施(市議会議員をお願いするのも有効と思います) (1)

(宮野) 先程お話した内容と重複しますので割愛しますが、いずれにしても、自治体への働き掛けに加え、国の助成金、民間での資金調達を3本柱で、自治体の負担を軽減しながらも、妥協せずベストな改修を目指します。

[ボランティア]

- ボランティア募集の現況について (1)

ボランティア拡大に向けたアイデア

①前日作業ボランティアと当日作業ボランティアが必要ですが、当日ボランティア対象にユニフォームを製作したらどうでしょうか？現在のピブスでは貧弱に見えます。(オリジナルで、見た目に恰好の良い憧れるような服装)春/秋用と夏用の2種類。予算も掛かると思いますが、ボランティア組織を定着させる意味でユニフォームは重要と考えます。

②スタジアム周辺の自治会へアプローチし高齢者の方々にもお声掛けをしたらどうでしょうか。(時間的余裕もあり、生活の励みにもなると思います)これは、他のクラブでも随分見かける光景です。

③盛岡市職員へのアプローチ

長年クラブ運営をしている割にクラブの認知度が上がっていない現状に心を痛めています。盛岡市のプロスポーツの発展に盛岡市がもっと当事者意識を持つべきではないかと思っています。

(高橋) いつもボランティアの皆様には大変感謝しております。ボランティアの皆様無くしてはJリーグの試合を成り立たせることはできず、我々としても、ボランティアの皆様がやりがいと楽しさをもってご参加頂けるよう、努めて参ります。ユニフォームの件ですが、現段階で実現しますとは宣言できませんが、他クラブでの取り組みを参考にしながら検討を進めたいと思います。ボランティア活動している方を来場者に認知して頂けるような活動を行う(例えばバッジ等)できるところからの工夫を行えればと思います。



スタジアム周辺の、永井地区の自治会を中心にボランティアの呼びかけや、クラブの現状のご説明を定期的に行っております。ボランティアとしての参加以外にも、高齢者の方々への企画・バリアフリー促進といったところも、ちょっとしたクラブ側の工夫で実現できるところもあるかと思っておりますので、少しずつではありますが改善させていきたいと思っております。

[強化・アカデミー]

- 目玉になるようなレベルのJリーガーの検討して欲しい (1)

(田中) いつも応援頂き誠にありがとうございます。現状を見る中で、試合中の変化に対応できる選手が乏しく、ピッチ内外でチームに変化をもたらせる選手の必要性は感じています。経験を還元できる有名選手の獲得は、予算との兼ね合いもある中で検討して参りたいと思っております。

- クラブのフットボールフィロソフィを教えて欲しい (1)

- クラブはどんなフットボールを目指していますか
- 監督人事や編成は、その目指すフットボールに基づいていますか

(田中) 目指すフットボールとしては、3原則「切り替え・運動量・球際」+ 各選手の特長をベースにしています。今シーズン開幕に向けた編成は、昨シーズンの故障者率の高さを反省として、選手コンディションに重きを置き、スタッフの補充を含めて行なった結果、例年よりも良い形でシーズンを迎えられました。育成も然りですが、当然、今時点での結果にもこだわりながらチーム全体のオーガナイズを続けて参ります。

- スクールの会場が安定しない。例えば盛岡体育館スクールだと、開催日によってパルコタウンが会場になったり、開催が月1回ほどしかないときもある。スクール中止の連絡が無い。盛岡体育館スクール生が金曜日の夕方にパルコタウンまで行くのは難しい。スペシャルスクールが月曜日に行われているが、いつがどこで開催日とか中止とかの周知が全くもってない。(1)

(田中) スクールの会場・開催日については、施設の催事状況にどうしても影響を受けてしまいます。変更・中止時は振替カードの発行など、クラブとしては選手・保護者の方に負担の掛からないような対応を続けて参ります。中止・変更の連絡はメール、HP、SNS含めてより徹底いたします。スペシャルスクールについては、高松グラウンドを中心に行っているが、こちらも周知徹底をしっかりと行って参ります。

- ユース強化3年目、カテゴリーを着々と上げているのは良いが、高3が15人、高2が7人、高1が5人と年々所属選手が減ってるのが気になる。せっかく高3の世代やそのまた先輩がユースの歴史土台を作ってきたのだから、もっと内部昇格や県内外の選手獲得スカウトを頑張ってもらいたい。2年連続ジュニアユースの10番が流出は正直残念です。U-18日本代表やU-15日本代表にグルージャのアカデミーの選手が選出されるような流れを作って欲しい。(1)

(田中) まずは2年連続で昇格を果たしましたので、県1部にコンスタントに戦えるようなベースを作り、そこから上のカテゴリーを目指した戦いを続けていければと思います。個々のキャリアプランを尊重しながら、進路指導を行っています。



理想はクラブ内での昇格ですが、チーム内外を問わず、県内のトップレベルの選手が集まるようなクラブにしていきたいと思います。

- 全県にグルージャの知名度を広げる為に、一関にスクールのように県北や沿岸にもスクールを作れないか。(1)

(田中) 来年以降県北・沿岸スクール開設を検討しています。

- クラブ開示資料によると、グルージャの2018年度のチーム人件費は268百万円で、U-23チームを除いたJ3の14クラブ中、上から3番目の金額でした。2018シーズンの選手層から考えると、この数字は実態を反映しているとはとても思えないのですが、何か特別の理由があるのでしょうか。(1)

(宮野) こちらに関してはわたしから説明いたします。昨シーズン在籍していた中国人選手3名に関わる収支によるものです。各クラブ、特にJ1ですと大型の移籍が毎年どこかで発生していますが、P/Lにどう出ているのかなと思う節がある中、Jリーグが用意するフォーマットに沿う形で、自然体でリーグに報告・掲載頂きました。呂選手は所属元のベルマーレサイドに、陳選手は河北華夏に、余選手は移籍予定先のクラブの登録の都合上まだオフィシャルになっておりませんが、中国のクラブに移り、トレーニングを行っています。3選手共に、中国のアンダーカテゴリーの代表を担う選手達であり、まだ年齢も若いことから、なかなか出場機会には恵まれませんでした。陳選手に関しては、Y.S.C.C.横浜戦に出場してポテンシャルを発揮する等、今シーズンも育成して戦力することも検討するレベルにまで達していました。残念ながら、河北華夏に合流後に骨折をしてしまい、思うようなコンディションでプレーできていないと報告を受けています。身体能力も高く、サッカーIQも良いレベルにあり、何よりも好青年の為、今後の活躍を祈りたいと思います。

ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、Jリーグ全体でアジア戦略が加速化しており、弊クラブは、ヤンファン選手を皮切りに、中国との繋がりを活かしながら選手の獲得・育成に取り組んでいます。通訳、日頃のサポート、怪我をした際のフォロー、代表選出時のサポートなど、代理人手数料等、相当な経費が掛かりますが、そうした経費をカバーしつつ、クラブには移籍金により利益をもたらすことができている。外国人選手を受け入れたことが無いに等しいクラブの為、トレーニングでの難しさ等もありますが、Jリーグ全体の流れや、今後のアジアサッカーの発展の観点からも、クラブ自体も経験を積むことは大切であり、今後、他国の選手を受け入れる際の参考にもなる為、今後もメンバーを慎重に選びながら続けて参りたいと思います。

今夏より加入したガオ選手、ファン選手に関しても、中国代表アンダー世代の中心選手になります。ファン選手はJ2、J1に上がるポテンシャルを感じさせるほどの選手であり、日本語も堪能であることから、今回の怪我は残念でならず、本人も相当ショックを受けていました。来季以降の活躍を期待し、万全の状態ですぐ復帰できるようサポートを続けます。ガオ選手は春以降練習参加をした上で、獲得を決めました。11月に開催されるU-19アジア選手権の主力として出場予定であり、長期にわたる欧州・アジア遠征で不在が続きます。ミャンマーラウンドでの活躍を期待すると共に、復帰後、今シーズン中に戦力として活躍することも期待しています。



[営業・ホームタウン]

- スポンサーや一部の人に知られていないように感じるエスコートキッズの門戸をもっと解放して欲しい
(ヴァンラーレはFCのキッズ会員に解放している) (1)

(高橋) サッカー大会や教室の参加者等も含めて、他クラブと比べて、門戸を開いているように自認しているが、より多くの人に知ってもらえるように努める。

[事業]

- 会報誌の販売やインタビュー動画のアップなど、チームを知ってもらう為の取り組みがもう少し欲しい (1)

(宮野) 頂きました内容に限らず、チーム・選手をより知ってもらえるような施策を考えて参ります。

- いわて関連の有名人との交流を増やせないか。(1)

(宮野) 予算規模内で交流に意義のある方を見極めながら、できることを行いたいと思います。

- オフィシャルショップを川徳、フェザン、イオンに作って認知度を上げられないか。(1)

(宮野) もう既に数店舗のところで開始している予定だったのですが、なかなか思うようにならず、この時期まで来てしまいました。盛岡駅のお土産コーナー等、目ぼしいところにキッズ等置きたくて動いているのですが、まもなく実施できそうところもあるため、引き続き交渉を進めて参ります。

- SNSのセンスはJ3クラブで上位だと思うので継続して力を入れてツイッターは20,000、インスタグラムは5,000、ユーチューブ2,000人までフォロワーを増やして山形と東北ナンバー1を争う位になって欲しい。(1)

(宮野) 発信の観点は非常に大切だと感じておりますので、引き続き取り組んで参ります。

- グルージャビールの飲み放題イベント、回数券、スタンプカード、コンコースでの販売、試合終了後の提供を実施できないか。(1)

(宮野) グルージャビールの認知拡大・定着に向けて検討して参ります。

- 「炬燵で日本酒&おでん」の実現を期待しています。(1)

(宮野) いわぎんスタジアムの指定管理者とギリギリのラインで協議しながら(笑)、現状のスタジアムで楽しんで頂けることを実現すべく、取り組んで参ります。

- アカデミー広報を設置するとの事だったが、明らかに昨シーズンよりもアカデミー関連の情報が少ないように思える。特にジュニア・ジュニアユースの情報は無いに等しい。もっと積極的に情報を発信するべきではないか。(1)

(田中) 他クラブと比較した場合は、発信の質・量ともに劣ってはいないと思っておりますが、アカデミースタッフとの連携を深めて、更なる改善を目指して参ります。



-
- 岩手・盛岡にグルージャがある、と市民・県民に気づいてもらうアピールが、クラブからもっと欲しい。(1)
 - 八戸は、駅にポスターがあり、中心街の通りにはフラッグ、また試合告知のトラックが走っている。キッズももっと有効活用できるのではないか。(1)

(宮野) スポンサー様との取り組みや行政への働きかけ等、一朝一夕では進まないですが、クラブの認知・露出が増えるような様々な活動を続けて参ります。

[その他]

- 8/31 のなでしこリーグとのW開催についてですが、なぜ同じ東北のベガルタ側とのコラボ(グッズ販売やベガルタをホーム扱いとしなかったり等)とならなかったのでしょうか。神戸推しの理由が理解できなかった。(1)

(宮野) 今回はINAC神戸レオネッサさんのホームゲームとして誘致が実現しましたので、INAC神戸レオネッサさんとの共催ゲームでした。

- いわぎんスタジアムの最寄り駅: 岩手飯岡駅を“グルージャいわて飯岡駅”に変更したらいかがでしょうか? (1)

(宮野) JR東日本様には是非検討頂きたいですが(笑)、野球場も2023年に出来ますので、スポーツらしいネーミングに変わったら嬉しいですね。

- 入場口などのボランティアの方々、あおば幼稚園のお子さん、水沢商業高校の生徒さん、ベルジョイスの新入社員さんの方と良好な関係を継続して欲しい。(1)

(宮野) ご記載の方々に関わらず、クラブに関わってくださる方が増えてきています。そうした方々を大切にしながら、更に輪を広げていきたいと思えます。

- 今季のトップチーム成績はそれほど芳しいものではありませんが、ホームゲームでの興業の質の向上やジュニア・ユースチームの躍進等を見るにつけ、クラブが着実に力をつけて「地域に無くてはならない存在」に少しずつ近付きつつあるのを感じています。最近は特にフロントスタッフの頑張りを感じられるようになり、嬉しく思っています。(1)

(田中) ありがとうございます! 地域の皆様に愛されるクラブになれるよう、活動を続けて参ります。

(宮野) 以上、事前のご質問に対する回答とさせていただきます。ここからはご参加頂きました皆様との意見交換・ご質問の時間とさせていただきます。



【意見交換】

Q: スタジアム整備について、現状は正直なところ、どうなのか？

A: (宮野)公開できる部分とできない部分があるが、クラブ中心となって話を進めており、順調ではあります。

Q: スタジアム整備について、どこを着地点として意識しているか？

A: (宮野)いくつかパターンがあります。予算・その他事情もある中、やはり理想は新スタジアムの建設です。現実的には照明をつける・諸室を補充するのが第1段階として重要なので、まずはこちらの実現を最優先に進めています。

Q: 観客数は伸びているのか？

A: (宮野) 1,216人(昨年) → 1,477人(今年)で伸びていますが、クラブとしては、平均2,000人をまずは目指したいです。なでしこのダブル開催の雰囲気、シーズンを通して実現できるよう努めます。

Q: 会場の問題 - 会場に来るだけでお客さんが高揚感を得られるような会場がどうしても必要、バックスタンドが天候に左右され過ぎる

A: (宮野) スタジアム老朽化によって綻びが出ているのは事実ですので、盛岡市としても、この点は改修されると思います。

(宮野)

本日はAWAY藤枝戦の翌日にもかかわらず、沢山の皆様にお集まりいただき、誠にありがとうございました。また、改めてオンラインワンダースタジアム様には、この場をアレンジ頂きまして感謝申し上げます。最近noteを始めましたが(笑)、クラブとしてもこうしたサポカンに限らず、様々な形で情報を発信しながら意見交換をしていき、良いクラブ、強いクラブを作って参りたいと思います。引き続きご声援の程、よろしく願いいたします。本日はありがとうございました！